

詩

詩

戦後詩人全集 第一巻

記憶と現在

現代詩全集 第六巻

大岡信詩集 「全詩集・今日の詩人双書7」

わが詩と真実

大岡信詩集 「綜合詩集」

彼女の薫る肉体

砂の嘴・まわる液体

螺旋都市

透視図法―夏のための

透視図法―夏のための 「特装版」

透視図法―夏のための 「縮刷普及版」

透視図法―夏のための 「縮刷普及版・新装版」

遊星の寝返りの下で 「限定版」

遊星の寝返りの下で 「普及版」

悲歌と祝祷

大岡信詩集 「綜合詩集 増補版」

春少女に

春少女に 「特装版」

アンドレ・ブルトン集成3 「新装版」

アンドレ・ブルトン集成4 「新装版」

アントナン・アルトー全集1

プレヴェール詩集 やさしい鳥

世界名詩名訳集 「世界文学全集49」

フランシス・ジヤム全集 第一巻

タゴール著作集2 詩集II

ジョン・アッシュベリー詩集

水府 みえないまち

草府にて

詩とはなにか

ぬばたまの夜、天の掃除器せまつてくる

故郷の水へのメッセージ

地上楽園の午後

火の遺言

光のとおりで

捧げるうた50篇

世紀の変わり目にしやがみこんで

旅みやげ にしひがし

鯨の会話体

酔ひどれ歌仙

POETISCHE PERLEN Renshi 詩の真珠・連詩

ヴァンゼー連詩

ヨーロッパで連詩を巻く

浅酌歌仙

ファザーネン通りの縄ばしご ヘルリン 連詩

とくとく歌仙

連詩 闇にひそむ光

すばる歌仙

歌仙の愉しみ

詩劇

權・連詩

あだしの

オベラ 火の遺言

連句・連詩

歌仙

連詩 揺れる鏡の夜明け

詩・翻訳

現代フランス詩人集 第一冊

世界名詩集大成5 フランスIV

ジヤム詩集 「ポケット版世界の詩人7」

プレヴェールほか詩集 「世界詩人全集18」

黒いユーモア選集 下巻

黒いユーモア選集2 「河出文庫」

世界名詩集 「世界文学全集 別巻第一巻」

アンドレ・ブルトン集成3

アンドレ・ブルトン集成4

おとぎ草子 遠いむかしのふしぎな話

おとぎ草子 「新版」

小倉百人一首

古今集・新古今集 「現代語訳日本の古典3」

古今集・新古今集 「字研M文庫」

万葉集ほか 「少年少女古典文学館25」

万葉集ほか 「21世紀版少年少女古典文学館24」

超現実と抒情 昭和十年代の詩精神

超現実と抒情 昭和十年代の詩精神 「新装版」

文明のなかの詩と芸術 「新装版」

文明のなかの詩と芸術 「新装版」

現代芸術の言葉

現代詩人論 「角川選書13」

現代詩人論 「講談社文芸文庫」

蕩児の家系 日本現代詩の歩み 「新装版」

蕩児の家系 日本現代詩の歩み 「新装版」

蕩児の家系 日本現代詩の歩み 「復刻版」

蕩児の家系 日本現代詩の歩み 「復刻版」

肉眼の思想 現代芸術の意味 「中公文庫」

肉眼の思想 現代芸術の意味 「中公文庫」

紀貫之 「日本詩人選7」

紀貫之 「ちくま文庫」

言葉の出現

躍動する抽象 「現代の美術8」

現代美術に生きる伝統

たちばなの夢 私の古典詩選

私の古典詩選 「同時代ライブラリー」

装飾と非装飾

古典・翻訳

能・狂言集 「カラー版現代語訳 日本の古典 16」

和泉式部・西行・定家 「日本の古典 現代語訳1」

百人一首 「グラフィック版日本の古典 別巻1」

百人一首 「講談社文庫」

百人一首 「グラフィック版 特選日本の古典 別巻1」

古典 別巻1

百人一首 「ビジュアル版 日本の古典に親しむ2」

鬼と姫物語 お伽草子

大岡信が語る「お伽草子」 「かたりべ草子 1」

評論

評論

現代詩試論 「ユリイカ新書1」

現代詩試論 「双書種まく人3」

こうしてつくられる 「詩の教室1」

外国の現代詩と詩人 「詩の教室3」

詩人の設計図

芸術マイナス1 戦後芸術論

芸術マイナス1 戦後芸術論 「再版」

抒情の批判 日本の美意識の構造試論

藝術と傳統

眼・ことば・ヨーロッパ 明日の芸術

今日も旅ゆく・若山牧水紀行

岡倉天心 「朝日評伝選4」

岡倉天心 「朝日選書274」

子規・虚子

昭和詩史

昭和詩史 「新装版」

現代文学・地平と内景

詩への架橋

明治・大正・昭和の詩人たち

うたげと孤心 大和歌篇

うたげと孤心 大和歌篇 「同時代ライブラリ」

日本詩歌紀行

にほんご

詩の日本語 「日本語の世界11」

現代の詩人たち 上

現代の詩人たち 下

萩原朔太郎 「近代日本詩人選10」

萩原朔太郎 「ちくま学芸文庫」

若山牧水 流浪する魂の歌

現世に謳う夢 日本と西洋の画家たち

現世に謳う夢 日本と西洋の画家たち

「中公文庫」

加納光於論

日本詩歌読本

日本詩歌読本 「講談社学術文庫」

短歌・俳句の発見

表現における近代 文学・芸術論集

日本語の豊かな使い手になるために

日本語の豊かな使い手になるために

「講談社+α文庫」

日本語の豊かな使い手になるために

「新装版」

ミクロコスモス瀧口修造

楸邨・龍太

万葉集 「古典を読む21」

万葉集 古典を読む 「同時代ライブラリ」

1」

万葉集 古典を読む 「岩波現代文庫」

抽象絵画への招待

窪田空穂論

詩人・菅原道真 うつしの美学

詩人・菅原道真 うつしの美学 「岩波現代文庫」

連詩の愉しみ

あなたに語る日本文学史 古代・中世篇

あなたに語る日本文学史 近世・近代篇

あなたに語る日本文学史 「新装版」

日本の詩歌 その骨組みと素肌

日本の詩歌 その骨組みと素肌 「岩波現代文庫」

生の昂揚としての美術

詩人と美術家

その他の美術評論

ミロ 「世界名画全集 続巻 15」

ポロツク 「現代美術 17」

ピカソ 芸術の秘密

クレー 「世界の美術 24」

ピカソ／レジェ 「世界の美術 8」

ルソー／デュフィ 「世界の美術 26」

クレー／カンディンスキー／ミロ 「現代世界美術全集10」

エルンスト／ミロ／ダリ 「世界美術全集 23」

ジョルジュ・ブラック 「ヴァブリ世界名画集 54」

ブラック／レジェ／ノルデ／デュビュッフェほか 「世界の美術 12」

ボナール／マティス 「現代世界美術全集 11」

ゴーギャン 「世界の名画 10」

ゴーギャン 「カンヴァス世界の名画 10」

ゴーギャン 「新装カンヴァス版世界の名画 10」

画 10」

ブラックほか 「世界の名画 9」

絵画の青春 「原色版 世界の名画 9」

レジェ／ノルデほか 「世界の名画 15」

現代絵画の展開 「原色版 世界の名画 15」

15」

岡鹿之助 「日本の名画 47」

南蛮屏風 「平凡社ギャラリー 4」

ドガ 「新潮美術文庫 25」

クレー 「新潮美術文庫 50」

レンブラント 「世界美術全集 9」

菱田春草 「日本の名画 8」

菱田春草 「カンヴァス日本の名画 8」

クレーと現代絵画 「グランド世界美術 ヴァアトール」

「カンヴァス世界の大家画 18」

ゴッホ 「現代世界の美術 5」

ゴーギャン 「現代世界の美術 4」

ギユスターヴ・モロー 夢のとりで

大雅 「水墨画の巨匠 11」

随筆

断章

彩耳記 文学的断章

彩耳記 文学的断章 「新版」

彩耳記 文学的断章 「新装版」

狩月記 文学的断章

狩月記 文学的断章 「革装版」

狩月記 文学的断章 「新装版」

星客集 文学的断章

星客集 文学的断章 「新装版」

年魚集 文学的断章

年魚集 文学的断章 「新装版」

逢花抄 文学的断章

逢花抄 文学的断章 「新装版」

字滴集 文学的断章

字滴集 文学的断章 「新装版」

随筆

流域紀行

流域紀行 「朝日選書69」

風の花嫁たち 古今女性群像

198

風の花嫁たち 古今女性群像 「現代教養文庫」

本が書架を歩みでるとき

青き麦萌ゆ 「現代の視界2」

青き麦萌ゆ 「中公文庫」

片雲の風 私の東西紀行

ことばの力

ことばの力 「新装版」

アメリカ草枕

詩とことば

詩の思想

人麻呂の灰 折々雑記

マドンナの巨眼

水都紀行 スウェーデン・デンマークとの出会い

うたのある風景

人生の黄金時間

人生の黄金時間 「角川文庫」

日本語相談 一

日本語相談 「朝日文芸文庫」

大岡信の日本語相談

大岡信の日本語相談 「叢書死の文化11」

永訣かくのごとくに候 「ちくま文庫」

詩をよむ鍵

美をひらく扉

208

「忙即閑」を生きる 「角川文庫」
光のくたもの
人生の果樹園にて
一九〇〇年前夜後朝譚 近代文芸の豊かさ
の秘密
光の受胎
ことばが映す人生

折々のうた 245

折々のうた
続 折々のうた
第三 折々のうた
第四 折々のうた
第五 折々のうた
第六 折々のうた
第七 折々のうた
第八 折々のうた
第九 折々のうた
第十 折々のうた
折々のうた 総索引
愛蔵版・折々のうた 「全1冊」
新編 折々のうた

新編 折々のうた 第二
新編 折々のうた 第三
新編 折々のうた 第四
新編 折々のうた 第五

新編・折々のうた 1 春のうた・夏のうた
「朝日文庫」
新編・折々のうた 2 秋のうた・冬のうた
「朝日文庫」
新編・折々のうた 3 春のうた・夏のうた
「朝日文庫」
新編・折々のうた 4 秋のうた・冬のうた
「朝日文庫」
新編・折々のうた 5 春のうた・夏のうた
「朝日文庫」
新編・折々のうた 6 秋のうた・冬のうた
「朝日文庫」
新折々のうた 1
新折々のうた 2
新折々のうた 3
新折々のうた 4
新折々のうた 5
新折々のうた 6
新折々のうた 7
新折々のうた 8

新折々のうた 9
新折々のうた 総索引
折々のうた 三六五日 日本短詩型詞華集
精選折々のうた 日本的心、詩歌の宴 上
精選折々のうた 日本的心、詩歌の宴 中
精選折々のうた 日本的心、詩歌の宴 下

随筆(鑑賞) 301

わが愛する詩 わたしのアンソロジー
忘れえぬ詩 わが名詩選 「詩の森文庫」
恋の歌 「詩歌日本の抒情3」
うたの歳時記
春のうた うたの歳時記 1
夏のうた うたの歳時記 2
秋のうた うたの歳時記 3
冬のうた うたの歳時記 4
恋のうた 人生のうた うたの歳時記 5
明治・大正・昭和詩歌選 「少年少女日本文学館 8」
声でたのしむ 美しい日本の詩 和歌・俳句篇
声でたのしむ 美しい日本の詩 近・現代詩篇

声でたのしむ 美しい日本の詩 近・現代詩篇 〇〇
声でたのしむ 美しい日本の詩 和歌・俳句篇 〇〇

四季歌ごよみ 春 「ワインブックス」
四季歌ごよみ 夏 「ワインブックス」
四季歌ごよみ 秋 「ワインブックス」
四季歌ごよみ 冬 「ワインブックス」
四季歌ごよみ 恋 「ワインブックス」
名句歌ごよみ 春 「角川文庫」
名句歌ごよみ 夏 「角川文庫」
名句歌ごよみ 秋 「角川文庫」
名句歌ごよみ 冬・新年 「角川文庫」
名句歌ごよみ 恋 「角川文庫」

私の万葉集(一)
私の万葉集(二)
私の万葉集(三)
私の万葉集(四)
私の万葉集(四)
現代詩の鑑賞101
現代詩の鑑賞101 「新装版」
北米万葉集 日系人たちの望郷の歌
百人百句
おーいぼんた 声で読む日本の詩歌 166

星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句

著作集

著作集 334

大岡信著作集 第1巻
大岡信著作集 第2巻
大岡信著作集 第3巻
大岡信著作集 第4巻
大岡信著作集 第5巻
大岡信著作集 第6巻
大岡信著作集 第7巻
大岡信著作集 第8巻
大岡信著作集 第9巻
大岡信著作集 第10巻
大岡信著作集 第11巻
大岡信著作集 第12巻
大岡信著作集 第13巻
大岡信著作集 第14巻
大岡信著作集 第15巻
万葉集を読む 「日本の古典詩歌1」
古今和歌集の世界 「日本の古典詩歌2」

歌謡そして漢詩文 「日本の古典詩歌3」
詩歌における文明開化 「日本の古典詩歌4」
詩人たちの近代 「日本の古典詩歌5」
詩の時代としての戦後 「日本の古典詩歌別巻」

著作集(再録詩集) 468

大岡信詩集 「現代詩文庫24」
大岡信詩集 「五月書房」
新選大岡信詩集 「新選現代詩文庫108」
朝の頌歌
誕生祭 「現代詩人コレクション」
続・大岡信詩集 「現代詩文庫131」
続続・大岡信詩集 「現代詩文庫153」
大岡信全詩集
大岡信詩集 「自選」

著作集(再録随筆) 470

詩・ことば・人間
詩歌ことはじめ
ことのは草

ぐびじん草
しのび草 わが師わが友
みち草
しおり草
拜啓 漱石先生
おもひ草
日本語つむぎ
瑞穂の国うた
人類最古の文明の詩

その他

対談

詩の誕生 「読売選書」
詩の誕生 「新版」
日本の色 「朝日選書」
日本の色 「朝日選書」
討議近代詩史
討議近代詩史 「新装版」
批評の生理
批評の生理 「新版」

484

芭蕉の時代
詩歌歴史遊
言葉という場所
詩歌の読み方
詩と世界の間で 往復書簡
詩と世界の間で 往復書簡「復刻新版」
対談 現代詩入門
対談 現代詩入門 「中公文庫」
対談 現代詩入門 「詩の森文庫」
日本の詩歌 海とせせらぎ
俳句の世界
わたしへの旅 牧水・こころ・かたち
日本人を元気にするホンモノの日本語

496

講演集

四季の歌恋の歌 古今集を読む
四季の歌恋の歌 「ちくま文庫」
詩歌折々の話
《折々のうた》の世界
《折々のうた》を語る
正岡子規——五つの入口 「岩波セミナーブックス56」
日本詩歌の特徴

翻訳

モンドリアン 「紀伊國屋アート・ギャラリー」
15
長い歩み 中国の発見 上巻
長い歩み 中国の発見 下巻
中国の発見 長い歩み
抽象芸術
抽象芸術 「新装版」
抽象芸術 「復刊版」
近代絵画事典
ピカソのピカソ
近代絵画史
ガラのダリ
現代フランス詩論大系 「世界詩論大系1」
現代フランス詩論大系 「世界詩論大系1 新装版」
ヴァレリー全集 6
ヴァレリー全集 補巻
ヴァレリー全集 6 「新装版」
ヴァレリー全集 補巻 「新装版」
ヴァレリー全集 6 「増補版」
ヴァレリー全集 補巻2 「増補版」

505

昆虫記 「少女少女世界の文学 別巻2」
語るピカソ
マックス・エルンスト 「シュルレアリスムと画家叢書」
マックス・エルンスト 「シュルレアリスムと画家叢書 増補新版」
ミロの版画
道化のような芸術家の肖像
みつけたぞぼくのじ
まっくらけのまよなかネコよおはいりアラネア
おふるばをそらいろにぬりたいな
木の国の旅
宝石の声なる人に プリヤンバダ・デーヴィーと岡倉覚三・愛の手紙
宝石の声なる人に プリヤンバダ・デーヴィーと岡倉覚三・愛の手紙「平凡社ライブラリー」
日本 合わせ鏡の贈り物
昆虫記(上) 「世界文学の玉手箱3」
昆虫記(下) 「世界文学の玉手箱4」
昆虫記(上) 「ジュニア版 世界文学の玉手箱③」
昆虫記(下) 「ジュニア版 世界文学の玉手箱④」

手箱④
ファールブルの昆虫記 上 「岩波少年文庫」
ファールブルの昆虫記 下 「岩波少年文庫」
サンタクロースの辞典
シュルレアリスムと絵画
小さな強者たち 「ファールブル博物記2」
現代詩論大系 4 1960—1964 上
現代詩論大系 5 1960—1964 下
現代詩論大系 4 1960—1964 上
現代詩論大系 5 1960—1964 下
現代詩論大系 4 1960—1964 下
現代詩論大系 5 1960—1964 下
現代詩大系3
言語空間の探検 「現代文学の発見13」
昭和詩集二 「日本詩人全集34」
窪田章一郎ほか 「現代短歌大系5」
世界名詩集 別巻3
言葉と世界 「文化の現在1」
中心と周縁 「文化の現在4」

533

編集・解説

現代詩論大系 4 1960—1964 上
現代詩論大系 5 1960—1964 下
現代詩論大系 4 1960—1964 上
現代詩論大系 5 1960—1964 下
現代詩論大系 4 1960—1964 下
現代詩論大系 5 1960—1964 下

美の再定義 「文化の現在9」
ことばよ花咲け 愛の詩集
ことばの流星群 明治・大正・昭和の名詩集
五音と七音の詩学 「日本語で生きる4」
集成・昭和の詩

※『書誌』『あとがき集』もくじは、初版刊行年順。後年刊行された改訂版・文庫は初版に続けて並べられている。

※太字の書籍にのみ大岡信によるあとがきが掲載されている。そのほかは初版と同じあとがきが入っているか、あとがきそのものがない書籍である。
※「著作集」は、刊行年順ではなく、巻号順に並べられている。

詩集

記憶と現在

書肆ユリイカ 一九五六年 一五五頁 B6判 定価三三〇円

■あとがき■

ここに収めた詩は、数年間の作品から選んだ。一部の作品は、ここに収録するに当って改作したことがある。すでにユリイカ版『戦後詩人全集』の第一巻に発表した作品もこれに含まれているが、そのあるものにはかなりの修正を加えたところがあり、この詩集をもつて決定的なものにしたいと思う。

詩を書きはじめたのは一九四六年、敗戦の翌年からだった。ぼくらには長年の友人のようだった二人の教師、茨木清氏と中村喜夫氏のまわりに親しい友人数名が集って、『鬼の詞』という雑誌を作った。焼跡の掘立小屋のような中学校の校舎で、日暮れにガリ版を刷った。リルケ、日本浪漫派、中村草田男、ドビュッシ、立原道造、そして子供っぽい天文学などが、ぼくのなかにロマンチックに変貌しながら住んでいた。あれからもう十年近い。その間、ぼくは多くの友人知己によって精神の形成を助けられた。ぼくがその間に得た表現の貧しさは覆うべくもないが、敗戦から青春を開始したともいえる世代の一人と

して、ぼくなりには日本語の表現に心をくだいてきたことは事実だ。

すでに詩論集『現代詩試論』でぼくの詩に対する考え方の原型ともいうべきものはある程度明らかにできたと思っているが、ぼく自身が今一つの転換点に立っているように思う。一言でいえば、ぼくが意識的、無意識的に作ってきたぼく自身の枠を、どのようにして打ち破るべきかということが、ぼくの現在の問題なのだ。この詩集が一つの転機になることをぼくは願っている。

表紙の写真を撮って下さった長谷川周子嬢、いつもお世話になりつばなしのユリイカの伊達さんにお礼申し上げます。

一九五六年七月

大岡信

大岡信詩集

『綜合詩集』 思潮社 一九六八年 五九三頁 四六判変形 一
二〇〇円

■ノート■

「記憶と現在」は一九五六年八月ユリイカから刊行された。「大岡信詩集」（解説・寺田透）は「今日の詩人双書」第7冊と

して、一九六〇年十二月ユリイカから刊行された。第I部は「記憶と現在」から抄出した詩によって成り、第II部は「記憶と現在」以後の作品を収める。今度の詩集では、この第II部を独立した詩集の形に直し、表題を「転調するラヴ・ソング」とした。

「わが詩と真実」（解説・飯島耕一）は一九六二年十二月思潮社から刊行された。「大岡信詩集」以後の作品の中から、飯島耕一が作品を選び、編集してくれた。

以上三冊が、私の既刊詩集である。

思潮社から綜合詩集をまとめるよう誘いを受けたとき、これまでに書いた詩を洗いざらい収録することに、ためらいを感じた。ひとつには、未刊詩篇の数がかなり多くなっていたため、それらをまず単独の詩集で出したい気持ちがあったからである。しかし、私の物ぐさから、いつになったら自発的に詩集をまとめる気になるかわからない。考えた末に、未刊詩篇をも含めた綜合詩集をひとまず編むことにした。

したがって、既刊詩集以外の本詩集収録作品は、本来なら何冊かの詩集としてそれぞれ独立に刊行されるべきものだったことにかんがみ、これを五つの章に分け、それぞれに表題を付けた。各章の配列や作品の順序は、必ずしも年代を順に追ってはいない。

「方舟」（初期詩篇）の章の作は、「記憶と現在」以前にはじ

まって、「記憶と現在」収録の作品と年代が重なるものから選んだ。最初期の作品は十六才のころのものだが、それらの中の若干を含む。

以上のほか、放送のために書いたいくつかの作品を収録することを考えたが、紙幅の関係もあって見合わせた。

著者

透視図法——夏のための

『現代詩叢書2 縮刷普及版』 書肆山田 一九七三年 一一二
頁 B6判変形 八五〇円

■縮刷普及版のためのあとがき■

本書は一九七二年七月三日刊の『透視図法——夏のための』の縮刷普及版である。

元の版は私の希望で六〇〇部刷ってもらい、ほかに特製本二八部をつくった。それらは半年ほどで品切れとなったが、その後も折々問合せがある。書肆山田の山田耕一氏とは、元の版を刊行したとき、将来普及版を出す可能性について少々話があったことがある。比較的廉価で、しかも装本も見劣りしないもの